

放送番組審議会議事録

- 1 開催年月日 平成 24 年 10 月 11 日(木)19:30～20:00
- 2 開催場所 奄美市名瀬金久町 4 番 3 号 2 階 あまみエフエム会議室 にて
- 3 出席委員 委員総数 7名 出席委員数 5 名 欠席委員数 2 名
出席委員の氏名 : 深田 剛/別府 美加代/中村 修/泉 力/浜地 龍介
欠席委員の氏名 : 和田 美智子/里井 大起
放送事業者側出席者 :7名
小野 健太郎/丸田 泰史/元井 庸介/沖元 眞実/渡 武志/渡 陽子/宮田 愛

4 議題

審議(あますぼ ディ!ラックスについて)

5 議事の概要

- (1) 審議(あますぼ ディ!ラックスについて)
- (2) 次回の審議議題について
- (3) 事務局よりのお知らせ

6 審議内容

- (1) 和田委員、里井委員の欠席、及び放送局 麓の欠席の報告がされた。
- (2) 番組内容の審議(あますぼ ディ!ラックス)

深田委員長

この一ヶ月、台風ばかりで、今またもう一つ、来ようとしているような状況です。委員の皆さんも被害に会われたり、仕事でその影響を受けられたり大変な中だと思います。こういった災害にある島で生きていくのはつくづく厳しいなと思いました。あまみエフエムにも情報をいただいて助かりました。エフエムさん主催で、抜本的にどうしたらいいというような話ができればいいなと思いました。

では、番組の審議を始めたいと思います。今回はスポーツに特化した番組、「あますぼ ディ!ラックス」についての審議ですね。番組放送時間帯は毎週土曜日 13 時半から 30 分の番組です。再放送は同じく毎週土曜日の 19 時半から 30 分です。

内容は、勇和彦さんと、湊亜紀子さんがパーソナリティを勤め、さまざまな競技で活躍する皆さん＝スポンチュをゲストにお招きし、そのスポーツの魅力や楽しみ方を伺ったり、さまざまなスポーツイベントの事前情報や結果をお知らせしたりする、スポーツ情報盛りだくさんの 30 分番組です。

スポーツの得意な方もいらっしゃるし、スポーツを全くしない方もいらっしゃると思いますが、皆さんが聞いて、審議会として率直な感想や、こうしたら面白いといった意見、ここはどういうことなのですかなどのご質問などいただければ、番組の制作にも生かせると思いますので、よろしく願いいたします。

浜地委員

毎週土曜日(の番組)なので、自分は土曜日には車を運転していないので聞いたことがなく、CD で(この

番組を)初めて聞きました。スポーツ関係(の番組)はいくつかありますよね。(他のスポーツ番組の)レジェンドってあるじゃないですか。エフエムうけんの番組ですか。それと比べてしまって。レジェンドがバラエティーなら、こっちはドキュメンタリーなのかなと。じっくり深く聞かないと感動が伝わらないなと思いました。いい話ではあるのですが、これを1時間きいているのは、正直ちよつと重たいかと。ゲストは、いろんな人が出るのですよね。今回でたのは(年代が)上の方々ばかりだったので、若い方などであれば、リラックスして聞けてよかったのかなと思いました。これがもしドキュメンタリーのような形として攻めていくなれば、それでもいいのかな、というのが自分の印象です。

時間の長さについては、どこで切れるのか、どこで終わりなのかあやふやで、メリハリが無い感じを受けました。時々急に(効果音の笛の音が)ピーっと鳴ると、お巡りさんに見つかったのかな、と(笑)。びっくりしました。時間的には、深く話すのであれば、15分でもいいのかなと思いました。

別府副委員長

私もいつも(番組の)予告というか、「あますぼ ディ!ラックス」というタイトルは聞いていましたが、実際に聞くにはCDが初めてでした。その時間帯はあまり車に乗っていないからだと思いますが。私は、(番組パーソナリティの)湊亜紀子さんが同級生なので、はらはらして大丈夫かなと思いつつ聞きました(笑)。

(ゲストの)トップバッターが園田さんでしたが、とても感動して3回ぐらい聞いてしまいました。ファンなのです。園田さんの声のトーンが聞きやすく、よく響きますね。続編を聞きたいと思いました。本当に、(園田さんは)いろいろ引き出しがあると思うので。内容的にはひとつそんな風に思いました。

番組的には、(番組パーソナリティの)勇さんは声がこもりがちなので、(園田さんとの対比で)次の回が余計にそう聞こえてしまって、内容がスルーと流れてしまい、いつの間にか終わっていたという感じです。そんなことから、話をじっくり聞くということでも、伝え方は結構メリハリがあった方がいいのかなと思いました。

ただ、いろんなスポーツを紹介するという企画自体はいいと思います。島の人にはスポーツをする人が多いので。いろんな幅広い年齢の人にゲストに来てもらえば、その人が出ると、「出るから聞いてね」、となるし。あと、タイトルの「ディ!ラックス」っていうのもうまいなと思いました。

深田委員長

ここで放送局に質問ですが、今(浜地委員、別府副委員長)とお2人連続で「この時間帯には番組を聴いていない」とありましたが、この番組をこの時間帯に設定した企画の段階での理由などはなにかありますか。

一放送局 渡より

週末にスポーツのイベントや大会などが行われますので、その移動中の方々をターゲットにして、時間帯を設定しました。大会会場に行く時間帯に放送し、あとはその帰りの時間を狙って夜の19時に再放送、ということです。また、月曜日の夕方の生放送中で「あますぼニュース」という、主に(スポーツの大会などの)結果を報告するコーナーがあるのですが、それとの関連性からということもあります。事前情報は「あますぼ ディ!ラックス」、結果報告は「あますぼニュース」、という風になっています。

泉委員

(サンプルの)CDを受取ったときに、「オレが一番似合わない番組を・・・。」と思ったりしたのですが(笑)。聞いてみて、(番組パーソナリティの)勇さんと湊さん、二人の持ち味がうまく出ていないと感じました。スポーツを紹介する番組であれば、もっと「ドンドンパフパフ～!!」といった風に(鳴り物などを使ったりして)テンションを上げ

た感じでも面白いと思うし、それを(明るいキャラクターの)湊さんがやればいいと思うのですが、なんかちょっと中途半端で、いつもの彼女のパワーではない部分があって、それに対して(淡々としたキャラクターの)勇さんが、もっと淡々として、そのギャップをつければおもしろいのではないかなと感じました。2人とも同じようなテンションで行くので。片っぱは低空飛行、片っぱは「ぐわ〜っ！！」といくという、2人パーソナリティーがいれば、そういうのも面白いのかなと。勇さんがボソボソというところに、湊さんが「勇さん、何て言ったわけ！？聞こえなかったがね！も一回言って！」みたいな、それが湊さんの持ち味ではないかなと。はじめの回も、2回目も2人とも同じような感じでいくから、そこはもっと、見るものではなく、耳で聞くことしかできないのだから、変えていったらおもしろいのではないかなと思いました。

また、末広市場での収録ということで、はじめの回ときは、(末広市場の駄菓子屋の)レジのチーンと言う音が聞こえたりしていたのですが、次の回は聞こえていなかったですね。むしろ市場の音をわざと続けていって、勇さんに「こういう音が入ってきますから、許してくださいね〜」などといってもらってアクセントを入れるのも、おもしろいのではないのでしょうか。

深田委員長

先ほど浜地さんも(エフエムうけんのスポーツ番組「レジェンド」との)テンションとのギャップを感じるといういたのもそういうことなのかもしれませんね。

また、別府さんが園田さんの言葉が面白いとおっしゃっていたのも、園田さんも面白くしようと思ってテンションを上げてきていたので一層際立ったというのがあるかもしれませんね。

浜地委員

ゲストの声しか聞こえなかったというか。極端にいえば、パーソナリティーの声があまり入っていないように思いました。

中村委員

まず前提として、2人はボランティアパーソナリティーで、専門的にやっているわけではないので、自分としてはよくやっているのではないかなと思いました。勇さんのトーンが低いという意見がありましたが、それはそれで低いトーンで聞きやすく耳に入ってきたという印象と、湊さんのいきいきとした声から彼女の明るい性格が伝わってきて、いい感じだなと思いました。イントネーションにしても、シマグチを使いながらも、勇さんはきれいな標準語のイントネーションで聞きやすかったです。園田さんの回で、途中で湊さんが泣いたりしたのも、臨場感があっていいなと思いました。

前半が対談で、後半にあますばニュースなどがあったのですが、郡体などの身近な出来事ばかりで、親近感があっていいと思いました。そういったことで、総体的には良かったなと思っています。

ただ、お客さんを招いて対談するのですが、お客さんが告知をしたくていらっしゃる場合というのは、お客さんの一方的な告知本位な話になってしまって、聞いているほうでは少々つまらなくなってしまう。今回に限らず、夕方フレンドなどでもそうなので、告知のあるときには告知一辺倒にならないように、その人の、普段の行動や、イベントなどのために向き合っていることなどの話をしてほしいと思いました。そういう意味では園田さんのお話はすごく面白かったし、皆さん同様、自分も感動しました。ただし、最初に勇さんが言っている「競技の魅力や楽しみ方を伝える」という趣旨では、園田さんの生き様や活動、会社の話が面白すぎて、それはそれで面白かったのですが、本当の趣旨は、バスケットボールのことを話すのではなかったのかな？競技のよさや楽しみ方が伝えられていなかったのではないかな？と思ったので、番組の趣旨としては、ずれてしまったのかなと思いました。

そして、先ほどレジェンドの話があったのですが、専門分野の方をゲストに迎えて話をするということでは、「なちかしゃみくいばちゅんなまうがでい(あまみエフエム番組名)」や、エフエムうけんの「マニアックさんいらっしやい」でもあると思いますが、その分野のプロフェッショナルの方を読んで話を聞くということでは、そちらに比べてインパクトが足りないかなと思いました。できればバスケットボールやソフトボール、8人制サッカーなどの、それぞれもっとディープでマニアックな話をじっくり聞きたかったなあと、すごく思いました。郡体や大会の告知などの話だけでは感情移入ができないなと思ったので。 とはいえ、総体的にはよかったと思います。

深田委員長

まずスポーツをするきっかけ、スポーツに入るエピソードなどを聞きだしているのは本当にいいと思いました。そういうことを聞くと、子供にスポーツをさせようとしているお母さん方も聞きたいのではないのでしょうか。スポーツからその人の人生観、人生を見ることができたというのは、非常によかったと思いました。スポーツと音楽は世界共通でいろんなところに幅広く受け入れられるということで、番組のネタを探したら 30 分で足りなくなるぐらい、いろいろあるのではないかと思います。ということで、こんなコーナーがあったら面白いのではないかなというものをいくつか考えて来てみました。

- ・スポーツに関する蘊蓄を紹介するコーナー

→バスケットボールは籠に何かを入れたことから、ラグビーはサッカー中にボールを持って走ったから、など

- ・漠然とですが、何かのランキングのコーナー

- ・スポーツ版今日は何の日のコーナー

- ・怪我に関すること

→アスリートの方を呼ぶので、怪我へのアドバイスや、怪我の時のエピソード、怪我をしたときの心境や、怪我というのをキーワードに、質問事項を作る

- ・健康に関して気をつけていること

→健康に気を使っていることなどの紹介をしてもらおう。「飲むこと」ってなったりするかもしれませんが(笑)

- ・奄美のマイナースポーツの紹介

→競技人口がめちゃくちゃ少ないスポーツをされている方を見つけてきて紹介する、など。

- ・スポーツ関係の映画やスポーツ音楽のコーナー。

あと、さっきの蘊蓄にもなりますが、何々県ではどの競技人口が多いとか、みんなにも紹介できるものを、一時間の番組のあいだに入れていけば、いいのかなと。中には阪神ファンの人であれば、六甲おろしが流れるとか、サッカーであればチームの応援ソングが流れるとか、そういったものをあいだあいだに入れると、聞く側もメリハリが利いて面白くなるのではないのでしょうか。

パーソナリティーに関しては、皆さんの意見の通りだと思いましたので、ここでの発言は控えます。

あと、質問ですが、この番組には、スポンサーさんはついているのでしょうか。毎回スポンサーのことを聞いてしまいますが、やはり気になります。「この番組のスポンサーになりたい」という方が現われるような番組作りをしてほしいなと思いますので聞きました。以上です。

深田委員長

この番組に対して、ディの制作側から(番組審議委員への)何かご質問などはありますか？

一放送局 渡より

作っている側として一番今気になっているところは、皆さんからもたくさんご意見いただきましたが、パーソナリ

ティのお二方のテンションです。やはりこう、両極端にしていってほうが聞きやすいと思いますか？

僕も常々そう思っているのですが、湊さんも遠慮しているところがあったりして。

別府委員

湊さんがテンションを上げていくと、こんどは上げすぎないか心配です。

一放送局 渡

上げすぎたぐらいがいいと思います。

浜地委員

もっと掛け合いがあればいいのかなと思います。パーソナリティ同士、パーソナリティとゲスト、両方とも。今回はいい話すぎてパーソナリティが聞き入ってしまっ

深田委員長

(低いテンションが)ゲストさんに伝染しないかが心配です。まーぼ兄(あまみエフエムの他の番組のパーソナリティ)なんかは、引っ張って(ゲストの)テンションを1個2個上げますが。お落ち着いたスタートになるときに、最後までそのテンションでいくと聞きづらい、聞きやすい、いろいろ出てくると思いますので、(勇さんに)もう少しがんばってもらおうというの必要かと。あとは、マイクの位置を調整をすればいいのかな?など、技術的なことはよくわかりませんが。

一放送局 元井より

放送局側の人間ですけど、両極端にするという発想がなかったので(いただいた意見が)面白いなと思いました。今まで、「勇さん、テンション上げて～」とばかり思って聞いていたので。極端というのも面白いなど。

一放送局 渡より

もともと、番組スタート当初から、両極端の意味でお二人にお願いしている部分はあるのですが、もっと差別化したほうがいいのかもかもしれませんね。

泉委員

勇さんのしゃべり方は、もともと、「聞きづらい」と思っていたのですが、聞いていくうちにこのしゃべり方もいいかなと思うようになりました。(先ほど深田委員長からの意見について)スポーツ映画についての話や、マイナースポーツについての話とか面白いですね。奄美でアイスホッケーをやっているとか、いるかもしれないしね。カーリングをやっている、とか。「どうやって練習しているの!？」とかね。あと、「(島の)外ではこういうのやってたんだけど、やりたくて、仲間を集めてる」とかの人を引っ張ってくるとか。こういった(暖かい)ところで、ウィンタースポーツやってるとかも面白そうですね。スポーツはやっていないけど知識があるとか。

深田委員長

次の議題として、「その他」がありますが、なにかありますかでしょうか。

無いようでしたら、次回の審議会のお題の番組の説明をお願い致します。

(3) 事務局からのお知らせ

一放送局 より

次回の審議議題「イモリーナ×イモリーナ」について

毎週木曜日の夜9時から生放送で、パーソナリティは上野紋が、パーソナリティ兼ディレクターのような形で「世代を超えてシマツチュをつなごう」というコンセプトで、今年の4月から始まっています。

島の人はどうしても、18歳で一度島を出て、30歳ぐらいでまた帰ってくるので、あの人はどこで何をして帰ってきたのだろう、とか、空白の期間、つながっていない時間が多いと思っていて。そこで、先輩達がこういう道をたどってこうなりましたとか、今都会に居る人がこういうことを感じて島を見ているよとか、そういうのをつなげていけたらおもしろいのではないかな、というのをコンセプトにしています。

ただ、表にはそういった難しいことを出さずに、みんながメール等で参加して、生放送でみんなの意見を交換できる場になったらいいな、といった番組になっています。

末広市場のサテライトスタジオに、学校帰りにお菓子を食べに来てくれる中高生に話をして、イモリーナイモリーナやるから聞いてね、とか、リクエスト頂戴ね、と話したりして、少しずつではありますが、メールファックスが少しずつ増えてきています。今までラジオについての習慣がなかったものですから、自分が投稿したものがその場で読まれるという、そういった間口ができればなと思ってやっています。

毎週やっていますので皆さんも聞いていただける時間があるかもしれません。子供たちがどんどん参加が出来るような番組として展開していきたいし、もちろん島を離れた方々も、島に住んでいる方々にも聞いていただきたいという、欲張りですが、番組を作るうえでは常にあることなのですが、そういった気持ちで作っていますので、皆さんのお知恵を拝借できればと思います。

なお、今日はこの後9時から生放送があります。

一放送局 小野より、イベントの告知や、現在取り組んでいる事業などについての説明がある。

次回の番組審議会を12月14日金曜日、19:30からに決定し、閉会する。

7 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

次回審議会までに改善に努める

8 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

① 自社放送:平成24年11月3日(土曜日) 6:00から放送

② 書面の備置き:平成24年11月3日(土曜日)から、当該事項を記載した書面(議事録)を当法人事務局へ備置き、聴取者の閲覧希望に対応

③ インターネット:平成24年11月3日(土曜日)より当法人インターネットのホームページに転載

9 その他の参考事項 なし